

日本リスク研究学会第22回年次大会

日時：平成21年11月28日(土) 29日(日) (前日の11/27(金)に若手ワークショップを開催、[次頁参照](#))

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス56、57号館(東京都新宿区大久保3-4-1)

参加費(税込み、講演論文集代を含む)：

正会員・賛助会員・購読会員：6,000円 (協賛会員は本会会員参加費と同額)

学生会員・学生：4,000円

非会員：8,000円

主催：日本リスク研究学会

協賛(順不同)：「環境リスク管理のための人材養成」プログラム、環境ホルモン学会、日本環境学会、日本環境管理学会、社団法人環境情報科学センター、社団法人環境科学会、社団法人大気環境学会、社団法人日本化学会、社団法人日本水環境学会、エコケミストリ-研究会、社団法人土木学会、廃棄物資源循環学会、日本社会心理学会、社団法人日本都市計画学会、日本計画行政学会、環境アセスメント学会、社団法人日本人間工学会、公共政策学会、科学技術社会論学会、危機管理システム研究学会(予定も含む)

～ プログラム ～

11/27(金) 夜 若手を中心としたワークショップの開催を予定。

テーマ「化学物質のリスク評価と意思決定のギャップを埋める」

(オーガナイザー：永井孝志(農業環境技術研究所)) ほか

11/28(土) 9:30～ 受け付け開始

10:00～12:00 一般、企画セッション(1)

13:00～15:00 総会、学会賞受賞記念講演

15:15～17:15

シンポジウム「リスク管理と専門家の役割」

特別講演：藤垣裕子(東京大学大学院総合文化研究科准教授)

パネルディスカッション

「専門家は意思決定にどのように関わるべきか - 環境リスクの管理を例に - 」

パネリスト：環境省環境安全課、衆議院調査局、日弁連公害対策・環境保全委員会、新聞または放送関係者を予定

17:30～19:30 懇親会

11/29(日) 10:00～12:00 一般、企画セッション(2)

13:15～15:15 一般、企画セッション(3)

15:30～17:30 一般、企画セッション(4)

セッションの内容

一般報告セッション

食品リスク、リスク評価・管理、リスク認知、リスクコミュニケーション、健康・環境、経済・経営・製品安全、災害・都市地域問題

企画セッション

化学物質管理制度におけるリスク評価手法の全貌(今とこれから)

オーガナイザー：竹田宜人(製品評価技術基盤機構)

災害リスクガバナンス

オーガナイザー：長坂俊成(防災科学技術研究所)

化学物質のリスクトレードオフ解析手法の開発

オーガナイザー：恒見清孝(産業技術総合研究所)

食品安全の新たなガバナンスのあり方を探る

オーガナイザー：関澤純(食品総合研究所)

社会人リスクマネジャの役割とJRMNの今後の展望

オーガナイザー：宮崎隆介(日本リスクマネジャネットワーク)

【参加お申し込み先】

日本リスク研究学会第22回年次大会 Home Page: <http://www.sra-japan.jp/SRAJ2009HP/>

「日本リスク研究学会」については、<Home Page: <http://www.sra-japan.jp/cms/>> をご参照下さい。



日本リスク研究学会第22回年次大会併設

- 公開ワークショップ -

『化学物質のリスク評価と意思決定のギャップを埋める』

開催日：2009年11月27日(金) (第22回日本リスク研究学会年次大会前日)

時間：18:00~21:00

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス (早稲田大学西早稲田キャンパス55号館1階会議室：最大70名収容)

参加費：無料 (当日締切：先着順 定員になり次第締切)

概要：

現状の化学物質管理では、科学的なリスク評価と現場での意思決定の間に大きなギャップがあると考えられる。本企画では、化学物質によるリスク評価と意思決定をテーマとし、科学的なリスク評価をベースとした化学物質管理などの意思決定を行っていくためにはどのようなアプローチがあるか、ということそれぞれの話題提供者が取り組んでいる実例を交えて考察する。この企画を通し、そのようなギャップを埋めるための共通知を探っていきたい。

お問い合わせ先：永井孝志 ((独)農業環境技術研究所) E-mail nagait@affrc.go.jp

プログラム：

- 1 リスクを探る：工業化学品の環境リスクと意志決定 (平井祐介 製品評価技術基盤機構)
- 2 リスクを食す：農薬登録の意思決定 (永井孝志 農業環境技術研究所)
- 3 リスクを残す：土壌汚染と健康・経済リスクの意思決定 (保高徹生 国際環境ソリューションズ株式会社)
- 4 リスクを燃やす：難燃剤と火災・環境・経済リスクの意思決定 (井上知也 横浜国立大学 環境情報学府)
- 5 リスクを語る：誰が意思決定するのか？ リスクコミュニケーションの役割 (竹田宜人 製品評価技術基盤機構)
- 6 総合討論：リスク評価と意思決定の共通知を探る

本ワークショップは、リスク研究学への貢献や若手研究者の交流を目的とした、日本リスク研究学会企画「若手研究者によるワークショップ」の一つとして実施するものです。非会員の一般参加の方も無料でご参加頂けます。但し、応募多数の場合は当会会員を優先とさせていただきます。ご了承下さい。

企画責任者：永井孝志 ((独)農業環境技術研究所 有機化学物質研究領域)

【日本リスク研究学会】 学会 HP < http://www.sra-japan.jp/cms/modules/liaise/index.php?form_id=7 >

事務局：〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学 社会学部 土田研究室気付

事務局係(受付代行)：〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-9 大阪大学豊中キャンパス内 大阪大学生生活協同組合

事業企画室内 日本リスク研究学会事務局係

E-mail : office1@sra-japan.jp Fax. : 06-6841-1938 Tel : 06-6841-2101

